

レオテックス 3月11日（水）労使協議会



【磯原委員長 コメント】

25年度は、最賃引上げや要員・年齢構成における課題への対応を中心に協議を続けてきました。26年度においては、60歳以降の仕組みの見直しに最優先に取り組み、26年10月には成案化を目指したいと考えています。

今回のVOICEで特に多くの意見を頂いたのがシフトの設定についてです。

これにつきましては、各拠点から希望のシフトを確認・吸上げたのち、社内で検討の上決定してきたものと認識しています。今一度、各拠点とのコミュニケーションを密に図って頂き、運用して頂くようお願いいたします。

2026年度につきましては、構造改革が進展していく中、アクションプランが着実に実行されていくことを確認していきます。併せて、アクションプランの進捗がみられない中においては、改めて現場からの声を拾いながら全社一体となって取り組んで頂きたいと思えます。

また、25年12月社内にて発信された「レオテックスの方向性」についても、その考え方を現場により理解・浸透させていくため、これまで以上にコミュニケーションの密度を高めて頂きたくお願い申し上げます。